



スペシャルオリンピックス ヤングアスリート

スペシャルオリンピックス ヤングアスリートは、子供のスポーツと遊びにまつわるプログラムであり、知的障害 (ID) であるかないかは問わず、対象年齢は2歳～7歳です。ヤングアスリートで導入しているのは、走る、蹴る、投げるといった、基本的なスポーツスキルです。ヤングアスリートは、スポーツの喜びをすべての子供たちと分かち合う機会を、家族、教師、介助者、地域社会の人々に提供するものです。

ヤングアスリートでは、アクティビティやゲームを子供の個別のスキルや能力レベルに合わせて提供するとともに、子供たちが楽しくてインクルーシブな環境で一緒に遊べるようにしています。このプログラムが示すのは、すべての子供たちがその才能と能力を評価されるべきであるということです。子供たちが能力に関わらず参加し、参加した子供はすべて恩恵を得ています。

- **子供たちは他の子らとの遊び方を学び、学習をするのに重要なスキルを身につけます。**子供たちは、分かち合うこと、交代すること、指示に従うことも学びます。こうしたスキルは、家族、コミュニティ、学校のアクティビティで子供たちの助けとなります。
- **ヤングアスリートは、子供たちが楽しみながら体を丈夫にすることができます。**健康のための習慣は子供が幼少である間に教えておくことが重要です。そうすることで、身体的アクティビティ、フレンドシップ、学習のための生涯にわたる土台が作られます。
- **ヤングアスリートは、参加者が簡単にはじめることができ、楽しめます。**『ヤングアスリートアクティビティガイド』と基本的な装置を活用すれば、家庭でも、学校でも、コミュニティでも行うことができます。

ヤングアスリートを通じて、すべての子供、その家族、そのコミュニティの人々がスペシャルオリンピックスに参加することができ、インクルーシブなチームの一員となることができます。

スペシャルオリンピックス ヤングアスリートで、誰もが恩恵を得られます。

- **運動技能.**8週間のヤングアスリートカリキュラムに参加した知的障害のある子供には、7か月分の運動技能の発達が見られました。これと比較して、参加しなかった子供たちの運動技能の向上はわずか3か月分でした。
- **社交性と情動の学習 (SEL教育).**ヤングアスリートカリキュラムに参加した子供たちの親たちや教師たちは、その子供たちが幼児学校で活用するスキルを学んだと話しています。子供たちの熱意と自信が高まったのが感じられた。また、他の子らともうまく遊べるようになった等の声がありました。
- **期待.**参加した家族によると、ヤングアスリートで子供の将来への希望が高まりました。
- **スポーツへの準備.**ヤングアスリートは、子供たちが重要な動きとスポーツスキルを発達させるための助けとなります。こうしたスキルがあれば、成長したときにスポーツやレクリエーションアクティビティに参加するための準備が整います。
- **受容.**インクルーシブな遊びには、知的障害のない子供にも恩恵があります。他の子らのことをよりよく理解し受容することができるようになります。